

米国アショカ Bill Drayton 氏とのインターネットセッション

慶應義塾大学 総合政策学部 2年 本田 哲也

1.はじめに

現在、社会起業に対する認識は急速に深まりつつある。中でも SFC では、学部・大学院ともにソーシャルイノベーションを研究分野として確立させてきた。今回は、ソーシャルイノベーションをテーマに研究を行っている、金子・玉村・井上の 3 研究会の学生を中心に開催するものである。

2.目的

前述した通り、SFC は日本の社会起業研究をリードしてきた。その SFC の学生が、「社会起業家の父」と呼ばれる Bill Drayton 氏とのセッションを通じ、理論と実践の両方から社会起業に関する知見を深めることを目的とする。そして、参加する学生が社会問題を自分と関連づけ、行動を起こす機会とする。

3.実施内容

今回のプログラムの概要は、表 1 の通りである。

まずは、学生の代表が、現在取り組んでいるプロジェクトに関して、プレゼンテーションを行い、それに関するフィードバックを Bill Drayton 氏から得ることとした。今回は、福島県会津地域における地域活性化に取り組む学生と、小学生と協働して舞台づくりに取り組む学生がプレゼンテーションを行った。発表されたプロジェクトは、それぞれが社会問題だと捉えている問題への解決策につながるものであった。

その後、社会起業家になるために、私達がこれからなすべきことは何があるのか、どのようにして日本社会に、「社会起業」の概念を浸透させていけばいいのか等に関して、Bill Drayton 氏とのディスカッションを通して、理解を深めていった。

■日時：1月20日（火）

■時間：8：45 分開場

9：00 時開始 11：00 時終了

■場所：慶應義塾大学

湘南藤沢キャンパス ε 21

■タイムスケジュール

8：45－開場

9：00－開会

9：20－学生によるプレゼンテーション

9：50－Bill Drayton 氏とのディスカッション

10：50－閉会

表 1：当日のプログラム

4.本活動の成果と今後の展望

今回の活動の成果として大きく 3 点が挙げられる。

まず、第 1 点にテレビ会議システム越しではあったが、Bill Drayton 氏と直接学生が対話をする機会を得たことである。参加した学生は、ソーシャルイノベーションをテーマに開講されている研究会の学

生が中心であったため、社会起業の父として米国だけでなく、世界をリードしてきた Bill Drayton 氏から得る影響力は非常に大きなものがあった。

第 2 点には、社会起業家になるために我々がなすべきことを教示して頂いたことである。まず、私達は問題を特定し、それが自分にとって解決しなければならない問題なのかを考えなければならない。そこに必然性があるのであれば、使命感は自然に生まれてくるというものであった。しかし、その一方で、急ぐ必要はなく、目の前の問題を一つ一つ解決していくその積み重ねが重要であることも指摘された。Bill Drayton 氏は、「Everyone A Change-maker」という表現を好んで使い、限られた人だけによるのではなく、一人一人が社会に働きかけることの重要性を説く。個人レベルでも、国家レベルでも一つ一つの積み重ねの重要性を示唆しているのだと感じた。

第 3 点には、日本社会へ「社会起業」をどのように根付かせていくかに関してのアイデアを頂いたことである。西欧では、ノブレス・オブリージュという意識があるが、日本にはそのようなものは見当たらず、どうすればよいのかという質問がなされた。それに対し、Bill Drayton 氏は、それぞれ独自の文化があるのだからその文化の特性に適応するものを見つけることが重要だと述べた。私達は、改めて日本文化の伝統や日本社会の特性に関して見つめなおす必要がある。また、Bill Drayton 氏は、「社会起業」が社会に浸透するかどうかで、活気があふれる社会になるかどうかが決まるということも述べていた。

セッションの最後に来年もネットセッ

ションを実施することで Bill Drayton 氏と合意をすることができた。今回のセッションをきっかけに、一人一人がそれぞれ自分にとっての社会問題を特定し、解決するために一つ一つ行動を積み重ねていくことが大切であるということ再認識することになった。

5.謝辞

米国アショカの Bill Drayton 氏及びスタッフの方々を始め、金子先生・玉村先生・井上先生のおかげで今回のシンポジウムを無事に終えることができました。また、通信技術等で全面的にサポートを頂きました ITC の方々、通訳をご担当下さった城田さんにはお世話になりました。最後になりますが、湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」のご支援に改めて感謝いたします。



写真 1：当日の様子

Bill Drayton 氏経歴

1943 年生まれ。米国出身。アショカの創設者兼 CEO。Bill Drayton 氏は社会起業という分野の先駆者で、この分野の定義づけや発展に邁進してきた。「ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業家）の父」と呼ばれる。また、ドレイトン氏は排出権取引の開発や環境・経済など様々な分野でも中心的役割を果たしてきた。